

報道機関各位

熊本大学

熊本大学埋蔵文化財調査センター速報展
『速報！遺跡の上の熊本大学2015』開催について

熊本市内外に所在にする、熊本大学の各キャンパスは遺跡の上に立地しています。1994年以降、校舎やインフラなどの整備・改修工事に先立ち発掘調査を実施しております。

昨年度は、黒髪南地区と本荘北地区で重要な発見があり、現地説明会を開催いたしました。このたび、これらの調査成果をあらためて学外の皆さまに公開する速報展「速報！遺跡の上の熊本大学2015」を下記のとおり開催いたします。熊本市内の歴史と埋蔵文化財に、関心とご理解を頂ければ幸いと存じます。つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、開催期間中の取材方、よろしくお願いたします。

記

【開催期間】平成27年11月2日（月）～平成28年3月31日（木）

開館時間：9：00～17：00

※土日・祝日、年末年始（12月28日～1月3日）は休館

◆展示説明会

11月10日（火）10：00～11：00

12月10日（木）10：00～11：00

※申し込み等不要

【会 場】熊本大学埋蔵文化財調査センター 1階 展示室 ※入場無料
（熊本大学黒髪南地区）

※駐車場はありますが、混雑する場合がございますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

【内 容】

1 黒髪南地区

黒髪南地区の東半域において、平成25年8月～平成27年3月までの期間にライフライン（電気・ガス・排水等）整備事業が実施され、工事と並行して埋蔵文化財の発掘調査が行われました。従来の調査よりさらに深い地点において、新しく文化層が確認され、縄文時代後期前半の土器（御手洗A式みたらいAしき古段階こだんかい）が良好な状態で出土しました。この土器は、九州の伝統的な文化と、瀬戸内から伝わった新しい文化の融合を示す、九州の縄文文化研究にとっては重要な土器です。これまで、九州全体での出土資料が少なく、多くが小さな破片であるため全体像が不明でしたが、今回、保存状態のよい一括資料を得ることができました。今後の九州縄文土器研究の進展に大きく寄与すると期待されま

す。さらに、平野での出土は稀である縄文人骨が3体出土し、うち2体は成人男女と確認されました。3体目は、現地にそのまま埋め戻しています。このような複数の埋葬事例から広範にわたる墓域の存在が想定されます。平野において生活域と墓域がそろって確認される事例は稀であり、縄文時代後期前半の集落の解明にとって重要な遺跡です。

今回は縄文土器を中心に展示をします（人骨は現在、専門機関で復元・調査中です）。

このほか、墨で文字が書かれた奈良・平安時代の特別な土器や、工学部の前身である熊本高等工業学校当時の学生が使用したと思われる「工友寮（熊本高等工業学校～熊本大学工学部の学生寮：1911年～1980年）」の文字が入った杯や食器類も出土し、展示予定です。また、本学に残された戦争の傷跡として薬莢や焼夷弾も展示します。

太古に思いを馳せ、また、青春時代の日々を懐古していただければと思います。

2 本荘北地区

昨年、附属病院では外来診療棟が新築され、その東側が新たな表玄関として整備されました。この際、敷地内を流れる暗渠（地下水路）の改修工事が実施されました。加藤清正は、灌漑・治水のために、渡鹿の堰から「大井手」（井手は水路のこと）とそれから分岐する「一の井手・二の井手・三の井手」を開削したと伝えられます。病院の敷地を流れるのは三の井手に相当し、江戸時代から改修を重ねながら現在に至ると考えられてきました。改修工事中、現在の水路の右岸（白川側）から石垣が見つかり、石垣に使用された石の特徴から江戸時代後期の水路と判明しました。江戸時代後期からある時期までは、現在とは異なる水路があったことが判明したのです。石垣は破壊せず、現地で保存しておりますが、既に破壊されたものが発見されましたので、その石垣の石を展示致します。実際に触れることも可能です。

このほか、周辺では「桑原」と文字が墨書きされた土器が出土しました。これまでも「杵本寺」「田井」などの刻書や墨書ある土器が出土しており、本荘北地区には古代の寺や公的施設があったことが改めて分かりました。

以上の二地区の調査成果を、遺物展示や写真パネルを使って紹介します。

<お問合せ先>

熊本大学埋蔵文化財調査センター

担当：大坪志子・山野ケン陽次郎

T E L : 096-342-3832

E-mail : ter12tar@gpo.kumamoto-u.ac.jp

ken-arch@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学埋蔵文化財調査センター速報展

速報！遺跡の上の熊本大学2015

四千年の時を越えた縄文土器

縄文



黒髪・本荘の地に営まれた集落

古代

近世

掘り起こされた江戸時代の井手



懐かしき寮生活と戦争の爪痕

近代



BC. 2000

AD. 1945

2015 **11.02** **2016** **03.31**

入場
無料

会場 / 熊本大学埋蔵文化財調査センター

時間 / 9:00 ~ 17:00 休館日 / 土・日・祝日・12月28日~1月3日

※11月10日、12月10日には展示の説明会を開催いたします。
詳細は裏面をご参考ください。

主催・問合わせ先 (平日 9:00 ~ 17:00)
熊本大学埋蔵文化財調査センター

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 TEL 096-342-3832

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/organizations/maibun/>



後援 / 熊本大学五高記念館

速報展のご案内

熊本大学は、県下有数の遺跡の上にあります。埋蔵文化財調査センターでは、2014年度の熊本大学構内遺跡の発掘調査によって得られた調査成果を広く公開するため「速報！遺跡の上の熊本大学2015」を開催いたします。展示では、縄文時代、古代、近世、近代の遺跡について、約100点の遺物を用いてわかりやすく解説しています。熊本大学が遺跡の上になつていることを実感して頂ければと思います。

展示期間中に、発掘調査の担当者による展示説明会を下記のように開催いたしますので、ふるってご参加くださいませ。

◇展示説明会◇

発掘担当者が展示の内容を説明をいたします。下記2日間を予定しています。

会 場：熊本大学埋蔵文化財調査センター ※申し込み等不要

第1回：11月10日（火） AM10:00～11:00

第2回：12月10日（木） AM10:00～11:00

表の写真（左から）

- ・縄文土器（御手洗A式）
みたらい
- ・墨書土器「桑原」
ぼくしよ
- ・間知石
けんちし
- ・磁器「(工友) 寮」
こうゆうりょう
- ・焼夷弾
しょういだん

会場案内

■熊本大学黒髪キャンパスへのアクセス

①JR熊本駅から

a バス 子1・7 系統

b バス→「交通センター」乗換(②へ)

c 市電→「水道町」乗換(②へ)

②交通センター・水道町から

バス 子1・7・8・9・18・20 系統

③JR上熊本駅から

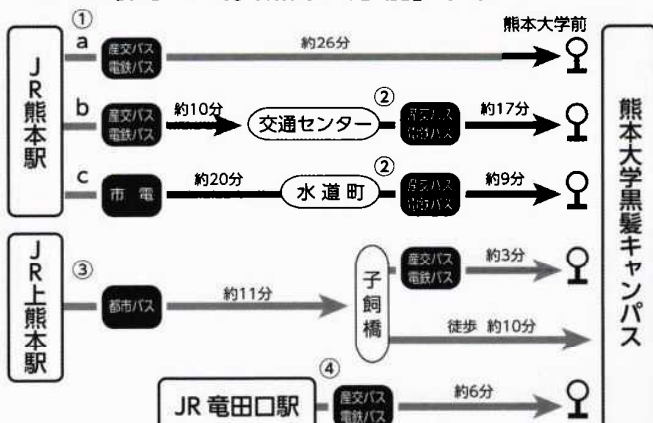
バス 子5・駅1 系統

子飼橋バス停下車し、バス乗換または徒歩。
バス乗換は②と同じ系統。

④JR竜田口駅から

バス 子1・7・8・9・18・20 系統

バスは最寄バス停「熊本大学前」下車



■熊本大学黒髪キャンパスの位置



※専用の駐車場はありません。できるだけ公共交通機関をご利用くださいませ。

皆様のお越しを
心よりお待ちしております。



熊本大学埋蔵文化財調査センター
非公認キャラクター ジョウモン